



本公演の見どころ

1. 問題行動×創造活動

問題行動と見なされがちな障害者の行動。時に常人の理解の限界を行くアーティストの創造活動。その紙一重の境目を取り払い、どちらも問題行動を起こし、どちらも創造活動を展開するのがこの作品です。「問題」とは何なのか、それは「創造」を拒もうとする社会からのレッテルではないのか？そのレッテルに負けないようにどう表現し続けるのか？ということ問いかけます。

2. 野村誠×砂連尾理×佐久間新×and so on

それぞれ音楽とダンスの世界の第一線で活躍し、アーティスト以外にも子供、お年寄り、障害者など様々な人と関わりながら常に新しい表現を創り続けてきた3人。意外にも本格的な舞台で共演するのは今回が初めてです。更に香港の福祉施設JCRCの利用者（13名）や、彼らが普段一緒に活動する日本センチュリー交響楽団の音楽家や奈良の福祉施設「たんぼぼの家」の利用者が加わります。それぞれがどのように影響し合い表現するのか、未知数であるが故に期待が高まります。

3. 即興×作品

既にJCRCの利用者とは4月に香港で7日間のワークショップとリハーサルを実施しました。しかしその中でも常に表現の内容や方法が即興的に変わります。公演では交響楽団の音楽家やたんぼぼの家のメンバーも加わり、公演中にもさらなる変化が起こるでしょう。音楽×ダンスという筋書きのある作品でありながら、即興的にその場で生まれる表現も当然のように取り込んでいく、新鮮で瑞々しい舞台になります。

開催趣旨

現代音楽とコンテンポラリーダンスの分野でそれぞれユニークな活動を続ける野村誠、砂連尾理、佐久間新による音楽とダンスの新作。香港の障害者福祉施設Jockey Club Rehabilitation Complex（JCRC、東華三院賽馬會復康中心）に滞在し、i-dArt（愛不同藝術）の利用者と共におこなった創作活動をベースに「音楽」と「ダンス」、「リーダー」と「フォロワー」、「障害」と「個性」、「香港」と「日本」などの既存の枠を越えた多様な世界を舞台化します。

出演者（野村誠氏）からのメッセージ

昨年、香港の福祉施設JCRC（東華三院賽馬會復康中心）に、アーティスト・イン・レジデンスとして、招かれた。3ヶ月間、施設の中で障がいのある方々と数多くの音楽プロジェクトを行った。そこで、出会ったコトバが、「問題行動」だった。福祉の文脈で「問題行動」とみなされることが、アーティストからは創造行為に見えることがしばしばある。だから外部からアーティストを招聘するのだ、と副施設長のメーリンさんは言う。問題だと思っていた行為の見方が変わる、とのこと。

なるほど、創造的なアート活動と問題行動は紙一重だ。歴史上も、先駆的な試みは理解されずに、「問題行動」とブーイングを浴びてきた。ナチスは「退廃芸術」として前衛芸術を「問題行動」として規制したし、スターリンも「形式主義」としてショスターコーヴィッチなどの前衛を「問題行動」として規制した。

こだわりを大切にすると「問題行動」というレッテルを貼られてしまう。JCRCの個性的な利用者たちと向き合った3ヶ月は、ぼくの人生にとって変えがたい時間だった。安易な楽しさに同調せずに、自分の気持ちに正直に生きる姿に、ぼくは心底共感したし、勇気づけられた。そんな体験を、砂連尾さん、佐久間さんという日本屈指の問題行動ダンサーがダンスにする。どんなダンスになるのだろうか？

香港から、マコトバンドのメンバーが駆けつけ、たんぼぼの家のメンバーも、日本センチュリー交響楽団の音楽家も参加してくれる。でも、単なる祝祭ではない。みんなに協調し場の空気を読むのではなく、こだわりすぎてヨソモノになる。でも、全員がヨソモノで、全員が「問題行動」だったら、誰も排除されない。そんな「問題行動ショー」。

開催情報

TOYONAKA ART TRIBE #2 音楽×コンテンポラリーダンス
ノムラとジャレオとサクマの **問題行動ショー**
ヨソモノになるための練習曲

開催日時 2019年6月29日（土）開場13:30 開演14:00

会場 アクア文化ホール（豊中市立文化芸術センター中ホール）
（大阪府豊中市曽根東町3-7-2 阪急宝塚線「曽根」駅下車、東へ約300m、徒歩5分）

主催 豊中市市民ホール指定管理者

助成 **公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団**

チケット 全席指定、一般3,000円、club CaT2,500円、学生1,000円
年齢制限なし。3歳未満膝上鑑賞無料。3歳以上要学生券。
障害者とその介助者1名まで2割引

取扱窓口 豊中市立文化芸術センター
チケットオフィスTEL:06-6864-5000（10:00～19:00月曜休館）
オンライン予約 <http://www.toyonaka-hall.jp/ticket/>
ローソンチケット
TEL:0570-084-005 [Lコード:57356]

出演者

砂連尾理

ダンサー／振付家



1. 砂連尾理 (c)田邊真理

トヨタコレオグラフィアワードを受賞したコンテンポラリーダンスの振付家。立教大学特任教授。認知症の人とのダンス活動を綴った著書『とつとつダンス』（晶文社）がある。1991年、東京藝術大学大学院美術研究科修了。

野村誠

作曲家



2. 野村誠

ピアノから三味線やガムランや鍵盤ハーモニカまで、音楽の可能性を拡大し続けている現代音楽の作曲家。著書に『音楽の未来を作曲する』（晶文社）ほかがある。現在、日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。

佐久間新

ジャワ舞踊家



3. 佐久間新 (c)Toshie Kusumoto

日本におけるジャワ舞踊の男舞の第一人者。インドネシア国立芸術大学でジャワ舞踊を学ぶ。障がいのある人との即興ダンスの活動でも知られ、今年、たんぼぼの家との舞台「だんだんたんぼに夜明かしカエル」を演出した。

巖崎友美(ヴァイオリン、日本センチュリー交響楽団)
吉岡奏絵(クラリネット、日本センチュリー交響楽団)
i-dArt (from 香港:JCRCの利用者)
たんぼぼの家アートセンターHANAメンバー

関連イベント：ワークショップ

2019年4月に香港のJCRCにてワークショップとリハーサルを実施しました。



4. hong kong workshop 1



5. hong kong workshop 2



6. hong kong workshop 3



7. hong kong workshop 4

お問い合わせ先

豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール 指定管理者）

〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町3-7-2

TEL：06-6864-3901（火～日 9:00～20:00 月曜休館）

<http://www.toyonaka-hall.jp/>

公演内容・取材について

担当：柿塚

e-mail: kakitsuka@toyonaka-hall.jp

【交通案内】

- ・電車でお越しの場合

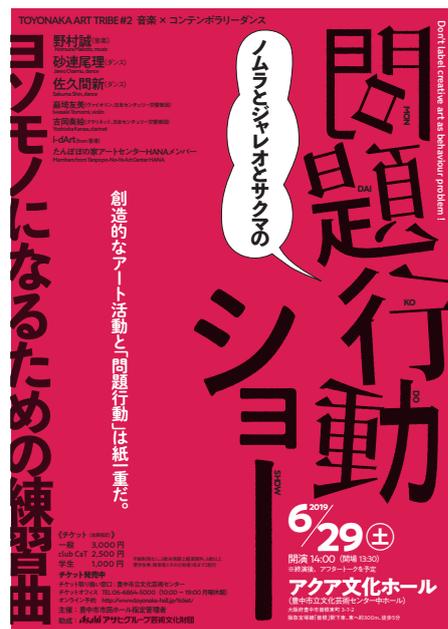
阪急宝塚線「曽根」駅より東へ約300メートル 徒歩約5分

- ・駐車場

地下（有料）75台（内小型12台、内車イス用3台）

初めの30分は無料。その後30分毎100円。

小型自動車でお越しのお客様はなるべく小型用スペースにご停車くださいますようお願いいたします。



7. チラシ

画像使用についての注意

- ・このプレスリリースに掲載されている画像データを広報用にお貸し出しいたします。末尾の「申込書」をご使用ください。
- ・画像を媒体掲載されるときには、画像とともにお送りするクレジット等を、必ずご記載願います。
- ・画像データ使用は、公演終了までとさせていただきます。
- ・画像の二次利用や転載はお断りいたします。
- ・基本情報・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で担当者までメールまたはFAXにてお送りください。
- ・本公演に関する記事をご掲載いただきました際には、掲載出版物または録画メディアを担当者に送付願います。
- ・インターネットに掲載した場合は、URLをお知らせください。

豊中市立文化芸術センター 事業担当者宛

Email : furihata@toyonaka-hall.jp

FAX : 06-6863-0191

広報画像申込書

TOYONAKA ART TRIBE #2 音楽×コンテンポラリーダンス
ノムラとジャレオとサクマの **問題行動ショー**
ヨソモノになるための練習曲
2019年6月29日（土）開演14：00～（開場13：30）

※ご希望の画像の番号に○をつけてください。

1 砂連尾理 (c)田邊真理

2 野村誠

3 佐久間新 (c)Toshie Kusumoto

4 hong kong workshop 1

5 hong kong workshop 2

6 hong kong workshop 3

7 hong kong workshop 4

8 チラシ

※媒体情報についてお知らせください（全てご記入願います）。

媒体名：

掲載・放送予定日：

貴社名：

部署名・ご担当者名：

所在地： 〒

Email：

TEL：

FAX：
